

各日本語教育機関  
設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会  
理事長 佐藤次郎

## 令和3年度文化庁委託主任教員研修に係る担当講師育成研修の開催について（ご案内）

当協会の運営につきましては、日頃より御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今年度も当協会では、文化庁委託日本語教育人材の研修プログラム普及事業のうち「日本語教育コーディネーター（主任教員）に対する研修」分野を実施することとなりました。本普及事業においては昨年度から「研修担当講師の育成」が義務付けられ、本主任教員研修内でも講師育成に取り組むものです。

講師育成研修は、これまでほとんど行われておらず、貴重な機会です。また本研修に参加される方には、主任研修の一部の研修に係る指導補助謝金、研修会場までの交通費をお支払いいたします。

受講希望者におかれましては、別紙3「参加申込書」及び別紙4「参加動機記入用紙」に必要事項をご記入の上、来る**7月30日（金）【必着】**までに、Eメールにてご応募くださるようお願いいたします。

### 記

#### 1. 研修の目的

研修実施ファシリテート及び受講生への学習サポートを担う次期主任研修担当講師の育成

#### 2. 定員

10名

#### 3. 参加資格

以下の(1)～(4)のいずれかの条件を満たす方。

(1)日本語教育振興協会の主任教員研修を過去に受講・修了した方

(2)日本語教育機関の告示基準(出入国在留管理庁 平成28年7月22日策定)第1条第1項第15号に規定する主任教員経験が5年以上ある方

(3)日本語教育機関の告示基準(出入国在留管理庁 平成28年7月22日策定)第1条第1項第10号に規定する校長又は副校長経験が5年以上ある方

(4)(1)(2)(3)と同等の知識・技能・経験を有する方

#### 4. 参加要件

(1) 育成研修及び主任教員研修全日程（※宿泊を伴う実施委員会を含む）に参加できる方

(2) 今年度の主任教員研修において講師の指示のもと指導補助ができる方

(3) インターネット環境が整っており、オンラインでの会議や授業の経験がある方

(4) 次年度以降の主任研修において研修委員を依頼された場合、担当が可能な方

(5) 500字程度の応募動機が提出できる方（別紙4）

※応募動機を勘案して選考いたします。

#### 5. 研修概要

##### (1)日程と内容：

①研修の概要・コンセプト、学習原理の講義：8月21日(土) 10:00~17:00 [オンライン研修]

②ファシリテーションのスキル研修：8月28日(土) 10:00~17:00 [オンライン研修]

③主任教員研修補助

- ~~オンライン~~対面集合研修：9月3日(金) 9:45~17:30・9月4日(土) 9:30~17:15  
[2日間]

~~東京会場 大阪会場の両会場をインターネットでつなぎ、同時開催。~~

~~東京会場 TKP 品川カンファレンスセンター~~

~~<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinagawa-shinkan/access/>~~

~~大阪会場 TKP 新大阪駅前カンファレンスセンター~~

~~<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinosaka-higashiguchi/access/>~~

- オンライン集合研修「アクションプラン」：9月23日(木祝) 10:00~12:00  
オンライン集合研修「ライティング」：9月25日(土)13:30~15:30

④査読スキル研修：令和4年1月21日(金) 19:00-21:00 [オンライン研修]

⑤宿泊を伴う実施委員会：令和4年2月11日(金祝)午後~13日(日)14:00

⑥事後の自己研修（研修の振り返りレポート提出）

(2) 担当講師育成研修担当者（主任研修実施委員）：

奥田 純子（委員長 コミュニカ学院 学院長）  
一条 初枝（ヨシダ日本語学院 校長）  
内田 さつき（コミュニカ学院 教務主任）  
亀田 美保（大阪 YMCA 日本語教育センター センター長）  
國田 久子（桜丘国際日本語学校 主任教員）  
澤井 美智子（大阪みなみ日本語学校 教務主任）  
神 恵介（新世界語学院 校長）  
辻 和子（前ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 校長）  
平岡 憲人（清風情報工科学院 専務理事・校長）  
山田 貴彦（ミッドリーム日本語学校 校長）

(3)費用：不要（一部研修に係る指導補助謝金，交通費をお支払いいたします。）

(4)修了要件：育成研修に90%以上参加し，研修の取り組み状況の評価と研修終了後に提出するレポートの査読でS,A,B,Cの評価の内，ともにA以上が評定されること。  
研修レポートは研修終了後に，A4判（40字×40行）で2枚をWordで作成し，Eメールで令和4年2月8日(火)（必着）までに提出していただきます。

担当：評価部 野田・塩原

TEL 03-6380-6557

Eメール [hyokabu@nisshinkyu.org](mailto:hyokabu@nisshinkyu.org)



## 令和3年度主任教員研修日程

集合研修会場：東京(TKP品川カンファレンスセンター)  
大阪(TKP新大阪駅前カンファレンスセンター)

## 第1日目【9月3日(金)】

時間	研修内容等	単位 時間数	項目(教育内容)	講師(担当)	事前課題	単位 時間数	オンデマンド学習	単位 時間数
9:00~9:45	受付			日本語教育振興協会事務局				
9:45~10:00	開会の挨拶・諸連絡			日本語教育振興協会事務局				
10:00~10:15	オリエンテーション	1/3	・ラーニング・マネジメント	奥田純子				
10:15~10:45	プレセッション 「学校の課題、私の課題」	2/3	・ネットワーキング	山田貴彦・神恵介	事前課題	2/3	「地域社会と日本語学校」 (映像教材と確認クイズ)	2/3
10:45~11:30	セッション1 「日本語教育機関の質保証」	1	・教育機関の自己点検評価	加藤早苗 (インテグリティ日本語学校校長)	事前課題	1	告示基準と自己点検評価 (映像教材と確認クイズ)	2/3
休 息								
11:45~12:30	セッション2-① 「日本語教育施策」	1	・留学生の入学管理施策	出入国在留管理庁 担当官				
昼 食								
13:30~14:15	セッション2-② 「日本語教育施策」	1	・政府の日本語教育施策	文化庁 担当官				
14:15~15:00	セッション2-③ 「日本語教育施策」	1	・日本語教育機関をめぐる動きと課題	佐藤次郎 (日本語教育振興協会理事長)				
休 息								
15:15~17:30	セッション3 「コースとカリキュラムをデザインする」	3	・教育機関の目的目標に応じたプログラムの策定、実施、点検、評価、改善 ・カリキュラム編成、クラス編成、教員の配置 ・プログラム評価、学習者評価、授業評価	辻和子・一条初枝 神吉宇一 (武蔵野大学大学院准教授)	事前課題	1	コースとカリキュラムをデザインする (映像教材と確認クイズ)	1

## 第2日目【9月4日(土)】

時間	講義内容等	単位 時間数	項目(教育内容)	講師(担当)	事前課題	単位 時間数	オンデマンド学習	単位 時間数
9:30~10:30	セッション4 「日本語教育機関の組織マネジメント」	1+1/3	・組織マネジメント(リーダーシップ論) ・教育機関の経営 ・危機管理 ・法令の遵守	平岡憲人・神恵介			組織マネジメント (映像教材と確認クイズ)	1
10:30~11:15	セッション5 「主任教育が行うべき“人材育成”」	1	・人材育成のための研修プログラムの策定 ・セルフマネジメント ・教員の協働のためのファシリテーション ・組織マネジメント	奥田純子・亀田美保	事前課題	1		
休 息								
11:30~13:00	セッション6 「こんなときどうする?」	2	・事例研究 ・問題解決能力 ・現状把握から課題設定、課題解決に向けた方略の検討 ・学習者の多様性への理解	神恵介・山田貴彦・内田さつき・ 國田久子・澤井美智子			問題解決の観点・視点 (映像教材と確認クイズ)	2/3
昼 食								
14:00~15:45	セッション7 「主任の仕事マップづくり」	2+1/3	・日本語教育機関における主任教員の役割 ・問題解決能力 ・現状把握から課題設定、課題解決に向けた方略の検討	神恵介・内田さつき・國田久子・ 澤井美智子			主任教員はなぜ必要なのか? (映像教材と確認クイズ)	1
休 息								
16:00~17:15	セッション8 「私のアクションプラン」	1+2/3	・問題解決能力 ・現状把握から課題設定、課題解決に向けた方略の検討	山田貴彦・亀田美保				

## オンライン集合研修 / OJT

日時	講義内容等	単位 時間数	項目(教育内容)	講師(担当)	事前課題	単位 時間数	オンデマンド学習	単位 時間数
9月23日(木) 10:00~12:00	web研修① 「アクションプランの完成」	2+2/3	・現状把握から課題設定、課題解決に向けた方略の検討	山田貴彦・亀田美保	事前課題	1	PDCAを知ろう! (映像教材と確認クイズ)	2/3
9月25日(土) 13:30~15:30	web研修② 「ライティング」	2+2/3	・キャリア支援	金孝卿 (龍澤大学国際学部教授)				
OJT期間:10月~12月 ※1/16(日)締切	OJTによるアクションプランの実践 レポートの作成	4	・現状把握から課題設定、課題解決に向けた方略の検討 ・教員の協働を支援するファシリテーション					

集合研修 16+1/3単位時間  
事前学習 10+1/3単位時間  
オンライン研修 5+1/3単位時間  
事後課題 4単位時間  
総単位時間数 36単位時間